

事業名称	第244回 中国本部 青年技術士交流委員会 例会		
開催日時	令和8年2月18日（水）18:30-20:00		
開催場所	第3ウエノヤビル6階 中国本部会議室		
参加人数	17名（内訳：会場9名、オンライン8名）	CPD	1時間0分
事業内容	<p>1. <b>例会</b>（18:30～19:00）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部本部青技交の40周年記念例会は9/11～15で調整中</li> <li>・ 2/21の三菱重工三原の構内駅伝大会に今年も技術士チーム参加</li> <li>・ 4/18に中国本部主催の新合格者祝賀会を開催予定</li> </ul> <p>青年はアイスブレイク、合格者とのコミュニケーションを担当 クイズ大会実施につき、問題を考えてくれる方は久場さんまでご連絡を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3月例会未定の為、内容提案または講師希望者は岡野さんまでご連絡を</li> </ul> <p>2. <b>講演</b>（19:00～20:00）</p> <p>テーマ：『鉄道車両のメンテナンスについて～安全安心に列車を走らせるために～』</p> <p>講師：下瀬 亮氏（修習技術者：電気電子部門）</p> <p>【講演要旨】</p> <p>以下の内容についての説明があった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR貨物の業務内容、事業規模、講師が所属する広島車両所の概要</li> <li>・ 稼働している貨車（コンテナ車）の種別とその特徴</li> <li>・ 実施される検査の種類、安全を担保する考え方</li> <li>・ 将来の貨物輸送について</li> </ul> <p>【所感】</p> <p>前回検査からの経過時間により、段階的に設定された検査を実施することにより安全が確保されていることを学んだ。旅客車両とは違い、走行距離では管理されていない（できない）のは印象的であった。さらに、貨車特有の事情から、鉄道分野で旅客車両や地上設備に広がりつつあるCBM（状態基準保全）が適用しにくく、TBM（時間基準保全）に頼らざるを得ない現状も興味深かった。「鉄道」に関心を持つメンバーが多く、発表の途中から活発な質疑応答が繰り広げられた。</p>		
備考	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>発表の様子</p> </div> </div>		
報告者	中国本部 青年技術士交流委員会 委員 河本良太		